

## 目次：

春期海外研修  
オーストラリア P 1第4回聖学院大学  
英語スピーチコン  
テスト開催 P 2留学生が日本の  
高校で1日講師 P 2交換留学生  
インタビュー P 3留学生の出身国  
ベトナム豆知識 P 3

留学生在籍状況 P 4

夏に実施される  
プログラム  
お知らせ  
行事予定 P 4

劣等感をバネに、  
授業を入念に準備、皆がやりたくない役割にも  
立候補。積極的に  
取り組んだら充実  
感を得ました。

## 春期海外研修オーストラリア・ディーキン大学

2010年2月9日～3月21日までの41日間、オーストラリア・ビクトリア州・メルボルン市にあるDeakin University English Language Institute (DUELI)にて、英語研修・ホームステイを実施しました。

## 欧米文化学科3年 猪瀬 亜美

大学に入学した時から海外に留学することが最大の目的でした。動機の半分は、一度も海外に行ったことがない憧れ、残り半分は、英語を学べば自分の世界観がもっと広がると考えていたからです。この留学で、英語だけではない、次の6つの大切なものを学びました。

知ることの喜び

私は、夫妻と犬2匹がいるホストファミリーに滞在しました。ホストには、初日から日本のことを色々質問され、自分が日本についての知識がないことに気づきました。しかし、それをそのままにしている以前の自分がいました。ホスト夫妻が分からないことがある度にリビングにある百科辞典を開き、調べるのを見るうちに、自分が得られる情報は知っておこう、それだけでも自分の世界観が広がるということに気づきました。

分からない時は、とにかく聞く！

ディーキン大学の授業で内容が分からなかった時、挙手をして注目されることが恥ずかしく、先生に質問できなかったことがありました。分からないことが溜まっていき、思い切って先生に質問してからはスムーズに授業を受けられるようになりました。また、乗る電車が分からなかった時、駅のホームにいる人に聞いたらすぐに電車に乗れ、何でも人に聞くことの大切さを学びました。

自然体の英語

ホームステイ先、授業、テレビなど、日常的に英語を聞く機会があったので、英語に対して構えたり、気後れしたりすることなく自然体で接することができるようになりました。英語を聞いているときは、便利と思った表現はすぐに自分でも使うよう心がけ、間違いを指摘された時は、正しい表現を言い直すようにしました。



ホストファミリーと

積極的に取り組む

ディーキン大学では、プレゼンテーション、グループプロジェクト、ジャーナル、エッセイなどの課題が多く課せられました。授業で初めてクラスメイトに自己紹介をした時、ほとんどの人が海外経験があり、私は劣等感を感じていました。しかし、それをバネにして授業を入念に準備をしたり、皆がやりたくない役割にあえて立候補するなどして積極的に取り組んだことで、自分自身が充実感を得ました。

時間を賢く使う

日本にいる時は、暇な時はテレビを見たり、携帯をしたりと何となく過ごしていました。しかし、オーストラリアに行ってから、40日間の限りがあることを意識して過ごしていたので、私のスケジュール帳はいっぱい、時間が足りない！と思っていました。日本ではこのような危機感がなかったなと思い、時間を賢く使うことを学びました。

人とのつながり

ホストファミリー、駅のホームで助けてくれたおばさん、クラスメイト、先生からは多くの事を学びました。ホストとは今でも連絡をとっており、彼らとのコミュニケーションが私の英語力を伸ばす原動力、私が前進するきっかけ、支えとなっています。

オーストラリアでの留学経験を残りの学生生活、そしてこの先の人生に生かしていきたいと思います。

## 第4回聖学院大学英語スピーチコンテスト開催

6月9日（水）、英語教育委員会・国際部委員会共催の第4回聖学院大学英語スピーチコンテストが開催されました。選考で選抜された8名がテーマ「私の異文化体験」「未来の私」「世界の中の日本ー私のイメージ」「私の主張」をもとに熱弁を振るいました。

最優秀賞である学長賞を受賞したのは、欧米文化学科4年の松浦徹さん、同学科1年の十河綾さん。松浦徹さんは、大学入試挫折後の2年間の絶望から、自らが行動を起こし、自らが変わった体験を通して“**You Can Do It Too**”と力強いメッセージを聴衆に伝えました。十河綾さんは、“**My Dream**”と題して、英語嫌いの生徒たちを励ますことのできる英語教師になるため、未来の自分への励ましのことを綴った手紙を読み上げながら、満面の笑みで夢を語りました。

### 受賞者

#### 学長賞

松浦 徹さん（まつうら とおる）  
“**You Can Do It Too**”  
欧米文化学科4年

十河 綾さん（そごう あや）  
“**My Dream**”  
欧米文化学科1年

#### 英語教育委員長賞

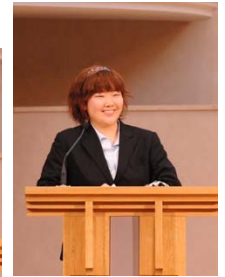
XU Xiaodaiさん（ジョ・ショウタン）  
“**My Life in Japan**”  
欧米文化学科1年

#### 国際部長賞

MAGANGA Johan Kevinさん  
（マガンガ・ジョハン・ケビン）  
“**My Future**” 欧米文化学科2年



学長賞  
松浦徹さん



学長賞  
十河綾さん

スピーカーと英語教育委員長、国際部長



## 留学生が日本の高校で1日講師 リ・ネイさん

6月30日、埼玉県立上尾高等学校の「国際関係」の授業において、人間福祉学科3年のリ・ネイさんが母国・中国の紹介授業をしました。

### 上尾高校での授業を終えて

人間福祉学科3年 LI NING

中国（リ・ネイ）

最初に大学の掲示板で「上尾高校で授業をしませんか？」というポスターを発見したとき、勇気を出せず申し込むことはできませんでした。しかし、その後も掲示板の前を通るたびに、ついそのポスターに目が行ってしまいました。本当はものすごく魅力を感じていたのだと思います。

授業の準備をするにあたり、多くの大学の友人やアルバイト先の女子高生に取材し、テーマを「恋愛」に決めました。生徒たちに楽しく聞いてもらうために、恥ずかしいとは思いましたが、自分自身の恋愛史、恋愛観まで盛り込み、一から十まで自分で準備しました。

日本の高校に足を踏み入れたのは初めてでしたが、違和感は無かったです。なぜかと言えば、高校生活を素材にしたドラマ「プロポーズ大作戦」や「野ブタ。をプロデュース」を何回も見ていたからです。実は、私は日本の高校生活に憧れていると言っても過言ではありません。今回は一日講師としてですが、次来る時は一日生徒とし

て来たいと強く思いました。

授業の始まりで中国語で自己紹介すると、話し終えた途端、生徒に「サッカーが好きなの？」と聞かれました。何で中国語が分かるのだろうと驚いていると、彼女は二年間中国で暮らしたことがある、とのことでした。こんなに多くの女性の前に立つことは初めてで、とても緊張していたので、生徒と視線が合わないようしていました。しかし、授業をしているうちに緊張感は無くなって、中国、特に出身地である「青島」を紹介しました。

授業の最後はクイズをやろうと思って準備していました。生徒は全員女子と聞いていたので、景品にチョコレートを買っておいたのですが、授業が楽しくなってしまった私は完全に時間を忘れ、クイズをする時間がなくなってしまいました。授業が終わると、やはり緊張していたためか、声が出なくなるような感じがしました。

授業が終わって、準備は本当に大変でしたが、大勢の前で話すことはとても勉強になったし、自分の出身地である中国のことを36人の生徒に紹介できたことは、中国人として嬉しかったです。今まで考えたことは無かったけれど、先生という職業にも少し興味が湧いた、非常に良い経験でした。



リ・ネイさん授業の様子



リ・ネイさん（中央）  
36名の女子生徒に囲まれて

## 留学生インタビュー

## 韓国・湖西大学校からの交換留学生、キム・テヒさん



韓国の提携校である湖西（ホソ）大学校から2010年度春学期から2010年度秋学期まで交換留学生として勉強しているキム・テヒさんに日本の留学生活についてインタビューしました。



## Q: 日本に留学することになったきっかけは？

A: 日本に興味を持ったのは、小さい頃から日本のマンガを読んだり、L'Arc-en-Cielや宇多田ヒカルなどの日本の音楽が好きでした。韓国の徴兵中に日本語を独学で学びました。軍隊の仕事は毎日忙しく、1日の間で暇になる唯一の時間の30分～1時間を日本語の勉強に使いました。ドラマや映画などでも勉強してきました。

## Q: テヒさんは、湖西大学校ではファッション学科に所属していますが、なぜ政治経済学科に留学したのですか？

A: 子どもの頃からファッションに興味があって、大学1,2年生でファッションの概論を学ぶうちに、ファッションの流通に興味をわいてきて、3年生から流通を専攻に決めました。日本のファッションは、韓国より進んでいると思います。私の専攻のファッション流通の授業は聖学院大学にはないと分かって留学しましたが、そのままの日本を色々と経験したいと思ってきました。

## Q: 1学期目が終わりましたが、授業はどうでしたか？

A: 今学期は、日本語を中心に、文化とグローバリゼーション、文化交流史（アジアと日本）や環境学を学びました。書きことばで話される先生の授業は、なかなか理解するのが難しかったです。話しことばで授業を進める先生のことばは分かりやすかったです。

## Q: テヒさんの日本語勉強法を教えてください。

A: ドラマや映画で勉強したり、毎日、日本語で日記を書いています。とても勉強になります。

## Q: 日本と韓国の大学生活の違いは何ですか？

A: 韓国では、学科をこえて200人くらいで飲み会をして、学生同士が仲良くなる機会があります。日本ではサークルなどに入らないと友達ができにくいのかなと思いました。

## Q: 残りの留学生活、韓国に帰ってからの目標は何ですか？

A: 残り半年は、日本の色々な地域に行って、東京とは違う日本文化を経験したいです。特に沖縄や九州に行きたいです。それから、BJTビジネス日本語能力試験を受験したいです。韓国に帰り、湖西大学校を卒業したら、また日本に来て専門学校で日本のファッションや流通を勉強したいと思っています。将来は、ファッション系のマーケティングの仕事に就きたいです。

## 韓国の提携校、湖西大学校

湖西（ホソ）大学校は、ソウルから1時間半の牙山市にあるキリスト教主義の大学です。学生数が1万5千人、20学部を擁する総合大学です。「ベンチャー志向の大学」として、また工学部や芸術学部が有名です。2004年に本学と提携して以来、湖西大学校からは毎年、交換留学生を迎え、本学からもすでに5名を送り出しています。



## 留学生の出身国 豆知識 ベトナム編

本学には、ベトナムからの留学生が12名、在籍しています。



## ベトナム社会主義共和国

公用語：ベトナム語  
首都：ハノイ  
最大の都市：ホーチミン

★山、ビーチ、メコンデルタなど豊かな自然がある。  
★世界遺産などの観光スポットも多い。



## ベトナム語挨拶

チャオアイン（こんにちは）  
タムビエット（さようなら）  
カムオン（ありがとう）

## ベトナムのコーヒー

ベトナムコーヒーはブラジルに次ぐ世界生産量の第2位。ベトナムコーヒーでよく知られているのは、練乳を入れて飲むスタイル。意外にもベトナムコーヒーは日本のインスタントコーヒーや缶コーヒーによく使われています。



## ベトナムの食

ベトナムは、基本的に米文化。米の麺を使ったフォーや春巻きは有名。ニョクマム（魚を発酵させた醬）、ハーブ類をよく使った料理が多い。

## ベトナム人の名字

本学のベトナム人留学生の名字は、グエン（NGUYEN）さんが多い。グエンという名字は、ベトナムで圧倒的に多い名字。他には、Tran, Ho, Phan, Vu, Buiなどが多い。



## 2010年度外国人留学生国別在籍状況

国籍名	合計
中国	182
韓国	24
ベトナム	12
ネパール	4
台湾	6
香港	4
スリランカ	2
バングラデシュ	1

国籍名	合計
タイ	1
ミャンマー	3
マレーシア	3
イタリア	1
インドネシア	1
英国(香港)	1
ガボン	1
	246



(2010年8月1日現在)

## 夏に実施される海外プログラム

- 7月31日～9月1日 フランス文化研修（欧米文化学科） フランス ルーアン、パリ  
 8月2日～8月29日 夏期海外研修カナダ・ビクトリア大学研修（全学科対象） カナダ ビクトリア市  
 8月8日～8月22日 オーストラリア環境スクール2010（政治経済学科） オーストラリア クイーンズランド市  
 8月30日～9月7日 海外文化交流研修（アジア）B 韓国 ソウル市、大邱市

## お知らせ・イベント

- 9月 秋入学留学生ガイダンス  
 10月 夏期海外研修カナダ帰国報告会  
 春期海外研修留学説明会  
 11月 ヴェリタス祭に学生国際交流委員、留学生参加  
 第8回聖学院大学留学生日本語弁論大会  
 12～1月 春期海外研修事前準備講座・結団式  
 2月 春期海外研修ディーキン大学研修（オーストラリア・メルボルン） 出発  
 第11回児童学海外研修（オーストラリア・フリンダース市） 出発  
 3月 在学留学生向け 留学生ガイダンス  
 新入留学生向け 留学生ガイダンス



SEIGAKUIN

聖学院大学 学生支援部

国際交流課

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1 8号館1階

TEL 048(725)2801 FAX 048(781)0094

Email: kokusai@seigakuin-univ.ac.jp

窓口受付時間

月 9:00～16:00

火～土 9:00～11:30, 12:30～16:00

### 次号予告

- ・2010年夏期海外研修カナダ参加者報告
- ・2010年春期海外研修・海外プログラム 報告
- ・留学生日本語弁論大会報告
- ・交換留学生インタビュー
- ・ヴェリタス祭 参加報告 など